

# リサイクルから、リジェネレーションへ

## BIOTECHWORKS-H2でアパレル製品が翌年の電気に



—— BIOTECHWORKS-H2  
の魅力が全社に共有。  
その行動の早さが企業  
力へつながっている。

将来性を感じたのが強  
かったです。ユニフォーム業界の中でよく掲げ  
られるキーワード(サステナブル、SDGs)だけど  
正直リサイクルのプロセスが見えないことが多  
くて。その中で、プロセスがクリアに見えたところ  
があったのでやってみたかった、というのが  
強いです。

—— ヒアリングから強みをさぐる

みんな口をそろえて言うのが「プラント建って  
ないところが怪しい」「プラント建ったらすごい  
けどないじゃん」と言われがち。そこが具体化で  
きたら強いのかなと思います。ただ、結局どのリ  
サイクルスキームも数値が見えないことが多い  
ので、その中でBIOTECHWORKS-H2は最初に  
数値が可視化できるのが企業にとって非常に強  
いんです。かなり説得力がありますよね。

—— どんどん広がるビジネスモデル

ZERO-TEXをもっと地域に広めたい。例えば、作  
業服から通学用ベストまで、みんなが安心安全  
で着用できるアイテムに置き換えていきたいの  
が一つあります。また、制服のリサイクルで  
BIOTECHWORKS-H2を結びつけることができ  
ないかなというのがもう一つの構想です。

制服は「捨てるしかないもの」の代名詞的なとこ

ろがありますが、そこをBIOTECHWORKS-H2  
と一緒に再生可能エネルギーに変換して、循環  
させていきたいです。地方自治体のPRとしても  
印象的ですし、ほかにも、フェスであんなに楽し  
んだけど、その後集めたTシャツが翌年の電気  
や、水素でいろんなものになるみたいにした  
い。

地域貢献にもなるので。僕らのユニフォームで  
やりたいと思っています。

—— リサイクルからリジェネレーションへ。

BIOTECHWORKS-H2は無いモノをカタチにし、  
他の生地メーカーではやってくれないことを  
やってくれると思っています。それが、ビジネス  
においても伝わってきますね。プロセスがしっ  
かりと見え、本当のサステナブルに取り組むこ  
とが会社として重要です。グレーゾーンが多い  
アパレルのサステナブルですが、これからは海  
外での取り組みがスタンダードになることは明  
確です。先見の明を強みとしている私たちは、早  
い段階でこのプロジェクトを取り入れることが  
さらなる強みにつながると確信しています。

世界各国を旅し、多  
くの経験と知識を持  
つ。ビジネスにおい  
てもワクワクドキド  
キを楽しむ永遠の冒  
険家。



創業当時から「誠実」がモットー

住商モンブラン株式会社  
営業企画部 東京営業企画課 担当課長  
久代 英樹さん